

施主様用




快適に使用していただくために

取扱説明書 自然浴生活

シングルシャッターFタイプ
－ 手動タイプ －

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。

表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
 補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

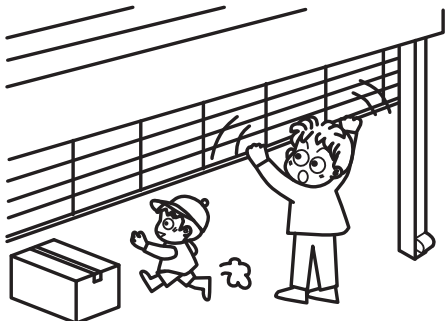
もくじ

1.安全のために必ず守ってください	1
2.各部の名称	2
3.使用方法	3
3-1 ステンレスシャッターの操作方法	3
3-2 アルミシャッターの操作方法	5
3-3 ステンレスシャッターの施錠・開錠方法	7
3-4 アルミシャッターの施錠・開錠方法	8
3-5 ご注意とお願い	9
4.お手入れについて	9
5.修理	10

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

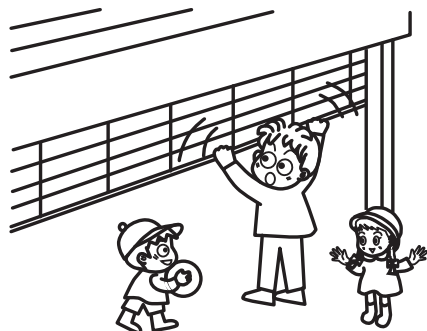
1 安全のために必ず守ってください

警告



- シャッターの開閉位置に人や物がいないことを必ず確かめてから操作をしてください。シャッターにはさまれて重大な事故になるおそれがあります。
- シャッターの開閉中は出入りをしないでください。シャッターにはさまれて重大な事故になるおそれがあります。

警告



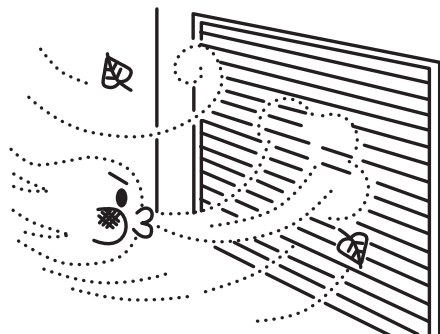
- シャッターの開閉位置付近でお子様を遊ばせないでください。誤ってシャッターを開閉し、はさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。
- シャッターを閉めたときは必ず施錠してください。お子様が操作してはさまれるおそれがあります。

注意



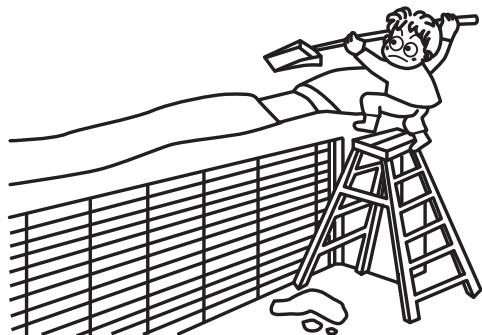
- シャッターの開閉中はシャッターにぶらさがったり、手や足をかけないでください。ケガをするおそれがあります。

注意



- 台風など強風時には無理にシャッターを操作しないでください。故障の原因になったり、急に強風が吹き込み転倒などケガをするおそれがあります。

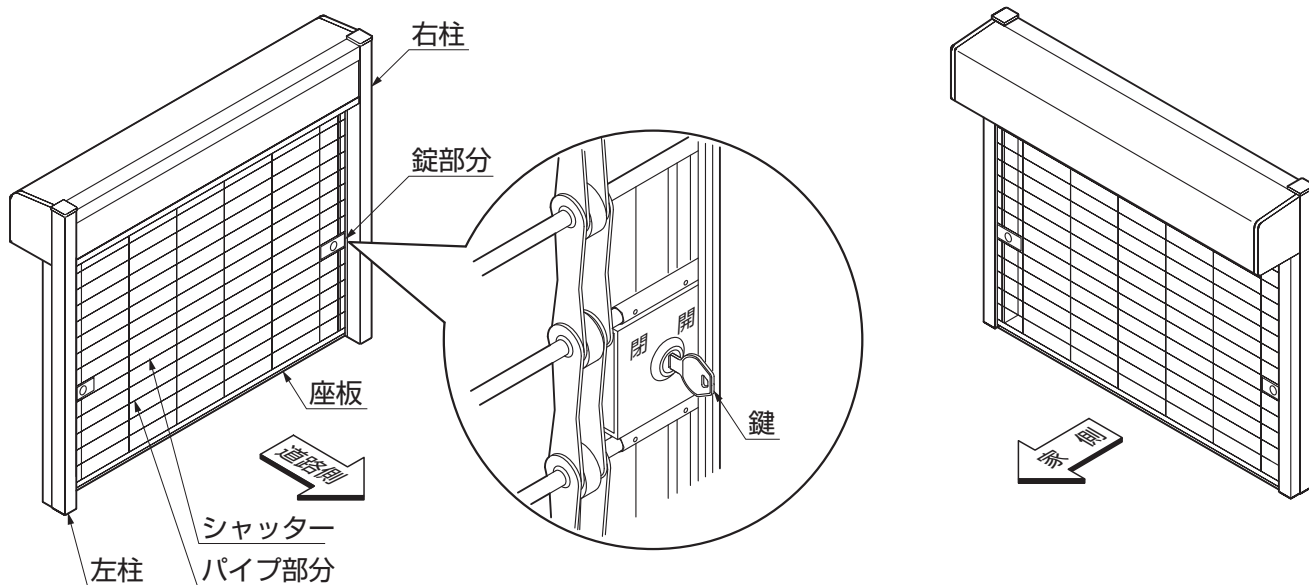
注意



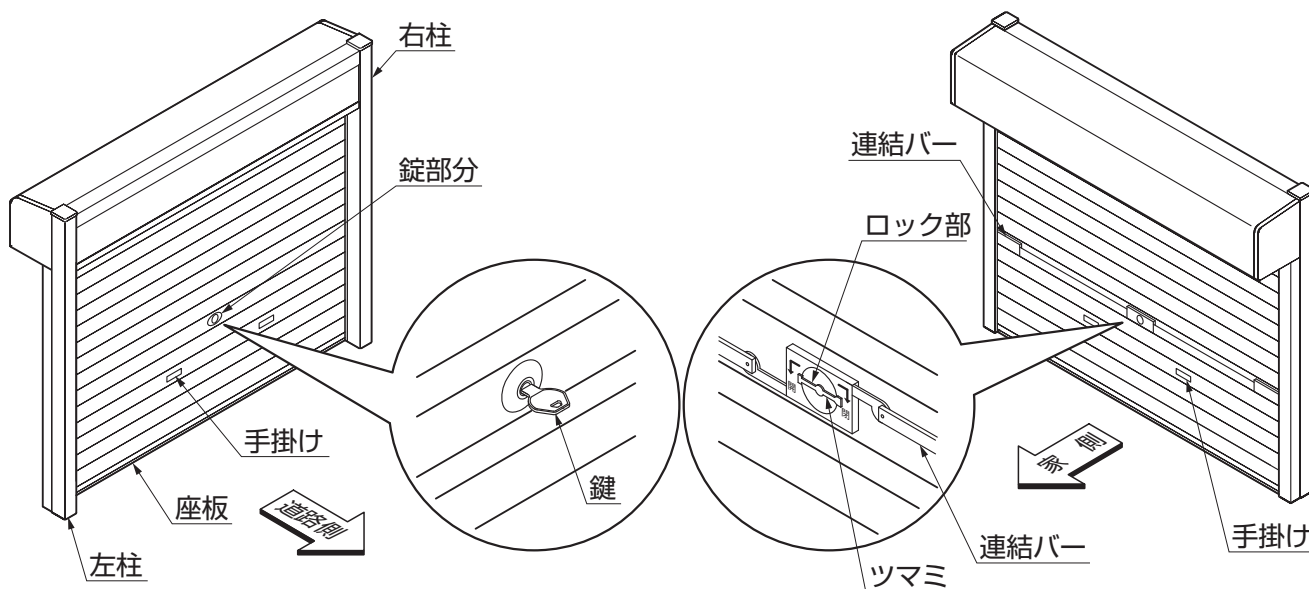
●シャッターケース部分の積雪が20cmを超えた場合は雪下ろしをしてください。落雪でケガをするおそれがあります。

2 各部の名称

(1) ステンレスシャッター



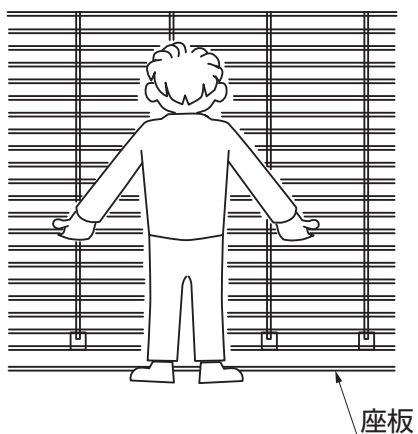
(2) アルミシャッター



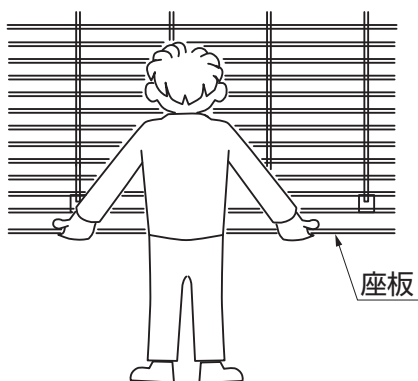
3 使用方法

3-1 ステンレスシャッターの操作方法

(1) あける操作



- ① シャッターのパイプ部分を持ち、座板が腰の位置にくるまであけます。



- ② シャッターのパイプ部分から座板に持ち替えます。
- ③ シャッターを背の高さまであけて、1度止めます。



- ④ シャッターの座板にフック棒を掛けて、ゆっくりと一番上まであけます。

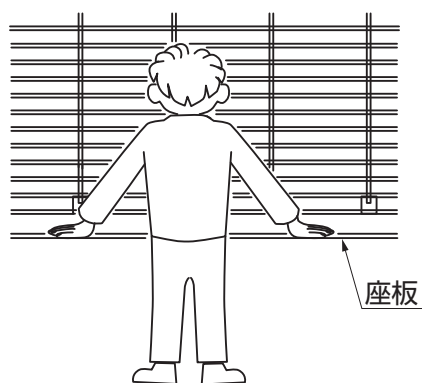
お願い

- 必ずフック棒を使用してください。乱暴な操作は故障の原因になります。

(2) 閉める操作

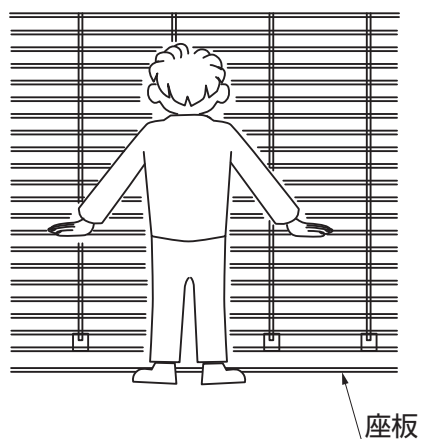


①シャッターの座板にフック棒を掛けて、ゆっくりと閉めます。



②シャッターの座板が背の高さまで閉まったらフック棒を外して、シャッターの座板に手を持ち替えます。

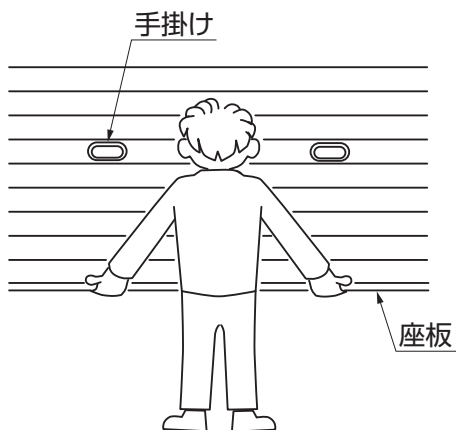
③シャッターの座板をしっかり持って、ゆっくり閉めます。



④シャッターの座板が腰の位置まで閉まったら、手をパイプに持ち替えて最後まで確実に閉めます。

3-2 アルミシャッターの操作方法

(1) あける操作



- ① シャッターの手掛けを持ち、座板が腰の位置にくるまで静かにあけます。

補足

- 家側から操作をする場合は手掛けに手が入りませんので周囲の凸部を持ってください。

- ② シャッターの手掛けから座板に持ち替えます。

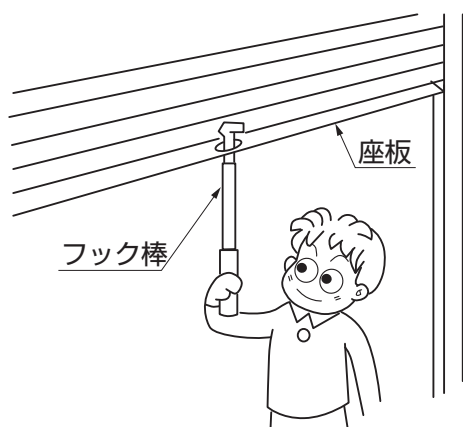
- ③ シャッターを背の高さまであけて、1度止めます。

- ④ シャッターの座板にフック棒を掛けて、ゆっくりと一番上まであけます。

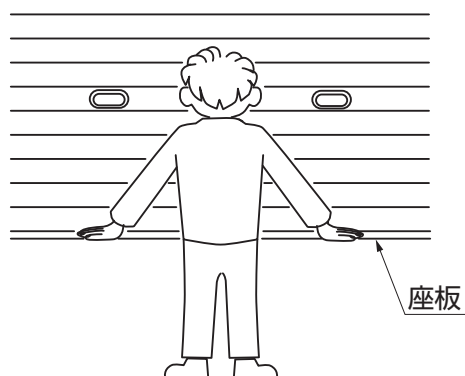
お願い

- 必ずフック棒を使用してください。乱暴な操作は故障の原因になります。

(2) 閉める操作



- ①シャッターの座板にフック棒を掛けて、ゆっくりと閉めます。



- ②シャッターの座板が背の高さまで閉まったらフック棒を外して、シャッターの座板に手を持ち替えます。

- ③シャッターの座板をしっかり持って、ゆっくり閉めます。



- ④シャッターの座板が腰の位置まで閉まったら、手を手掛けに持ち替えて最後まで確実に閉めます。

補足

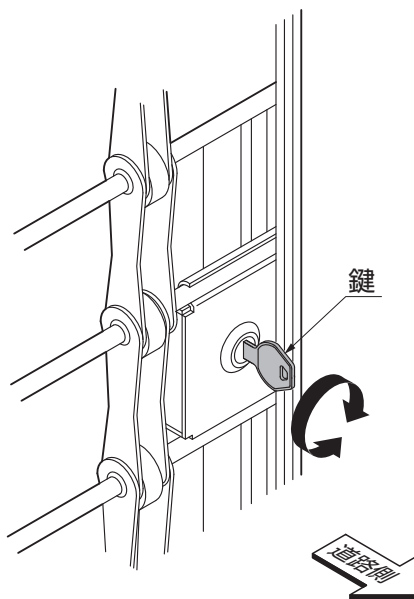
- 家側から操作をする場合は手掛けに手が入りませんので周囲の凸部を持ってください。

3-3 ステンレスシャッターの施錠・開錠方法

お願い

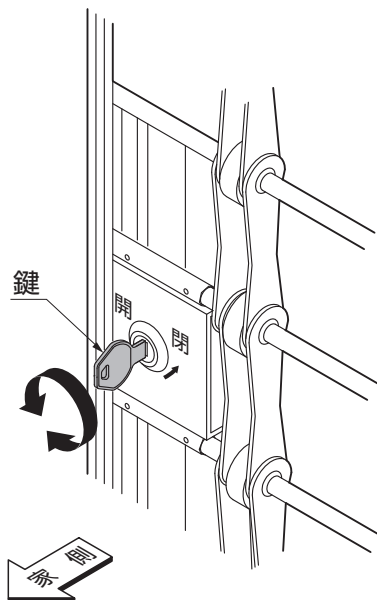
- シャッターが完全に閉まった状態で施錠してください。少し開いた状態で施錠操作しても鍵はかかりません。
- ステンレスシャッターの錠は左右に2ヶ所あります。施錠・開錠の操作は2ヶ所とも行ってください。

(1) 道路側からの操作



- ①鍵を差込みます。
- ②施錠する場合は、時計回りに180度回します。施錠後、シャッターを持ち上げて施錠の確認をします。
- ③開錠する場合は、反時計回りに180度回します。
- ④鍵を抜きます。

(2) 家側からの操作



- ①鍵を差込みます。
- ②施錠する場合は、反時計回りに180度回します。施錠後、シャッターを持ち上げて施錠の確認をします。
- ③開錠する場合は、時計回りに180度回します。
- ④鍵を抜きます。

補足

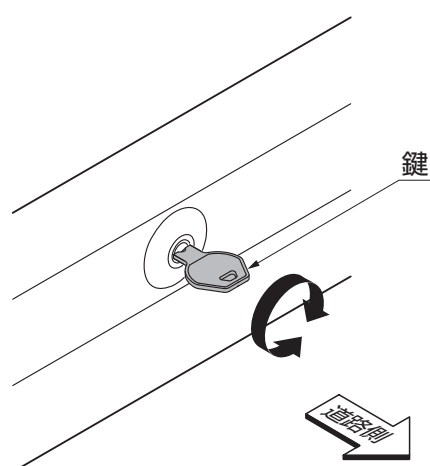
- 家側の錠部分には、開閉方向を刻印で表示しています。

3-4 アルミシャッターの施錠・開錠方法

お願い

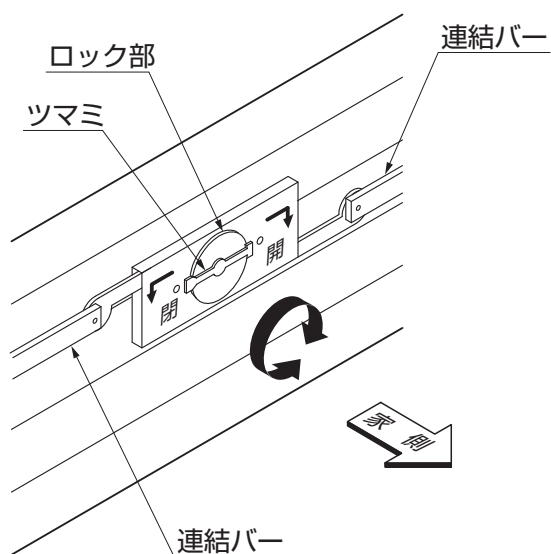
- シャッターが完全に閉まった状態で施錠してください。少し開いた状態で施錠操作しても鍵はかかりません。

(1) 道路側からの操作



- ①鍵を差込みます。
- ②施錠する場合は、時計回りに180度回します。施錠後、シャッターを持ち上げて施錠の確認をします。
- ③開錠する場合は、反時計回りに180度回します。
- ④鍵を抜きます。

(2) 家側からの操作



- ①施錠する場合は、ロック部のツマミを時計回りに180度回します。施錠後、シャッターを持ち上げて施錠の確認をします。
- ②開錠する場合は、ロック部のツマミを反時計回りに180度回します。

お願い

- ロック部のツマミは「施錠時」「開錠時」とも水平になるまで確実に回してください。ツマミを途中で止めると、道路側から鍵が入らなくなって施錠・開錠操作ができなくなります。
- ロック部の連結バーを持ってシャッターをあげないでください。連結バーが変形して施錠・開錠操作ができなくなります。

補足

- 家側の錠部分には、開閉方向を刻印で表示しています。

3-5 ご注意とお願い

お願い

- 鍵に刻印している番号をご使用前に下記に控えてください。
鍵番号 紛失時はこの番号で発注してください。鍵番号が不明の場合は、シリンダー錠ごと交換になります。
- 錠を差したまま開閉操作をしないでください。錠が壊れるだけでなく、シャッターが動かなくなる場合があります。
- 開閉時に障害物がないことを確認してから操作をしてください。障害物とシャッターの両方が壊れるおそれがあります。
- 開閉操作は、シャッターの一方の端部だけを持って開閉操作をしないでください。シャッターが片寄って作動不良の原因になります。
- シャッターケース部分の積雪が20cmを超えた場合は雪下ろしをしてください。シャッターケースのたわみによりシャッターにキズがつく場合があります。

4 お手入れについて

(1) シャッターのお手入れ

- ① 表の清掃回数を目安にして水拭きした後、柔らかい布で乾拭きをしてください。

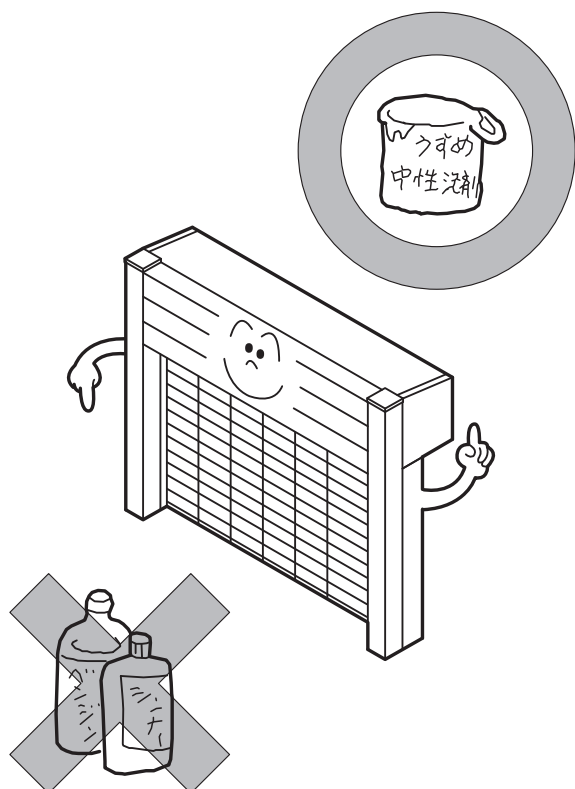
1年あたりの清掃回数を目安

材質 \ 環境	湾岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
ステンレスシャッター	10~20	6~10	4~8	2~4
アルミシャッター	1~4	1~3	0.5~2	0.5~1

お願い

- ステンレスシャッターは、サビにくい材料ですが絶対にサビない材料ではありません。シャッターを設置する地域の環境に左右しますので上の表を目安にお手入れをしてください。
- ステンレスシャッターでもらいサビなどがひどい場合は、市販のステンレス用サビ落としクリーナーを使用してください。使用前には、注意書きをよく読んでください。
- アルミシャッターは、開閉を繰り返すと表面に白い粉状のスジが発生します。これは表面のクリア塗装が繰り返しの巻取り動作によって白い粉状になり、雨水などで横に広がったものです。表面の白い粉状のスジは水拭き後、柔らかい布で乾拭きすると落とすことができます。
- アルミシャッター表面についた砂ボコリなどは、定期的に水洗いをしてください。そのまま開閉を繰り返すと表面キズの原因になります。

(2) 壁ユニット部のお手入れ



- ①定期的にお手入れをしてください。
- a.汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きをしてください。
 - b.汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で 汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

お願い

- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。塗料がはがれるおそれがあります。

5 修理

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、下記のシャッター専用フリーダイヤルまたはお買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
- このフリーダイヤルはシャッター開閉不具合の修理専用です。その他の修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店(工事店)または、「お客様相談センター」にお問い合わせください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

シャッター修理専用窓口 (365日 24時間 緊急修理の依頼を受け付けています)

0120-113-398

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年 月 日	電話番号	
施工店名		その他	

—お客様相談センター—
☎0120-126-001

株式会社 LIXIL

取説コード
UD085

JZZ614569B
200704A_1007
201210C_1007